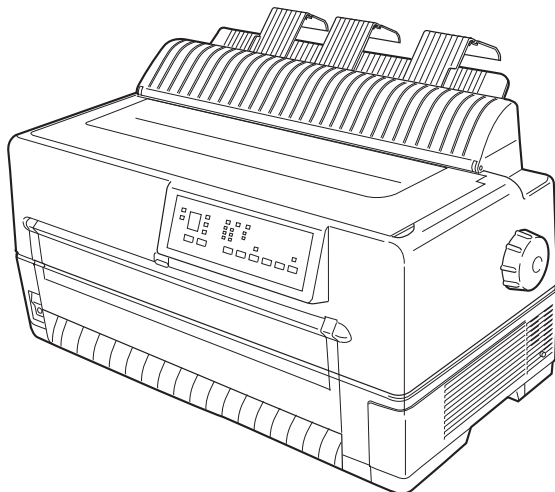
VP-5200
取扱説明書
セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

2013 年 2 月発行
Printed in XXXXX

ENERGY STAR

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.50 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT3.50、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。Windows NT3.50 と Windows NT3.51 の両方を表記する場合、Windows NT3.5x と表記することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	単票紙 /CSF	手差し＜単票＞
連続紙をプッシュトラクタから給紙する	連続紙（前） 連続紙（後）	プッシュトラクタ（前） ＜連続紙フロント＞ プッシュトラクタ（後） ＜連続紙リア＞
単票紙をカットシートフィーダーから給紙する	単票 /CSF	カットシートフィーダ ＜ CSF ＞

- 操作パネルの表記“CSF”は、カットシートフィーダー（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
- ＜＞表記は、EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 の表記です。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字Talk、TrueType、ColorSync は Apple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	特定の場所に触れることの禁止を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意			
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。		**不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。		**本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。** 転倒などによる事故のおそれがあります。
	本製品は重いので、1 人で運ばないでください。 開梱や移動の際は2人以上で運んでください。		**本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。** 滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。
	本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。		

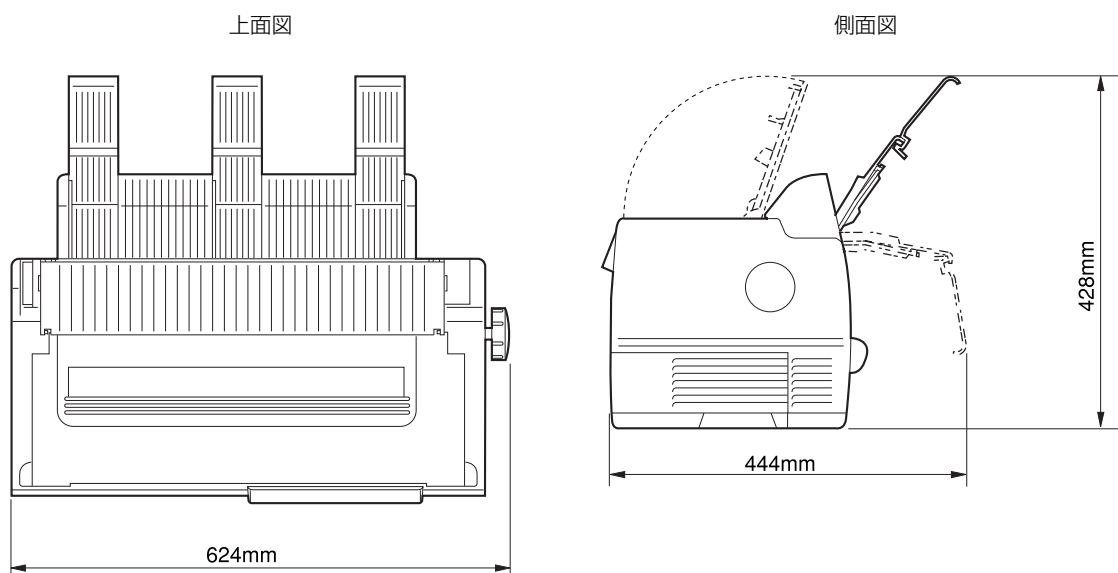
本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 本製品をプリンタ台に設定する場合は、本体重量（約 29kg）に耐えられるプリンタ台に設定してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

カットシートフィーダー（オプション）装着時

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの • 接地工事（D 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。
次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

<table>
<tr><th colspan="4">⚠警告</th></tr>
<tr><td></td><td>煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。</td><td></td><td>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。</td></tr>
<tr><td></td><td>開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。</td><td></td><td>取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</td></tr>
<tr><td></td><td>可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。</td><td></td><td>アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。</td><td></td><td>製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>操作パネルの液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
• 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
• 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
• 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。</td><td></td><td>各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。</td><td></td><td>使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。</td><td></td><td>本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。</td><td></td><td>リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</td></tr>
</table>

⚠注意	
電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。	**インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。** • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

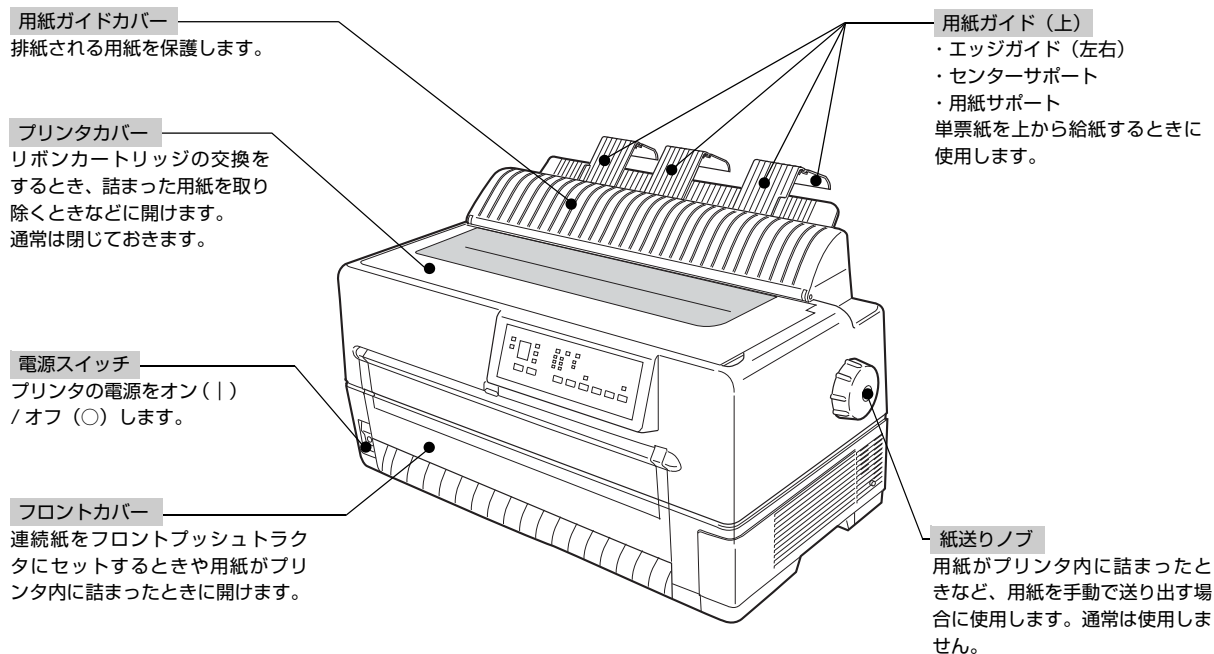
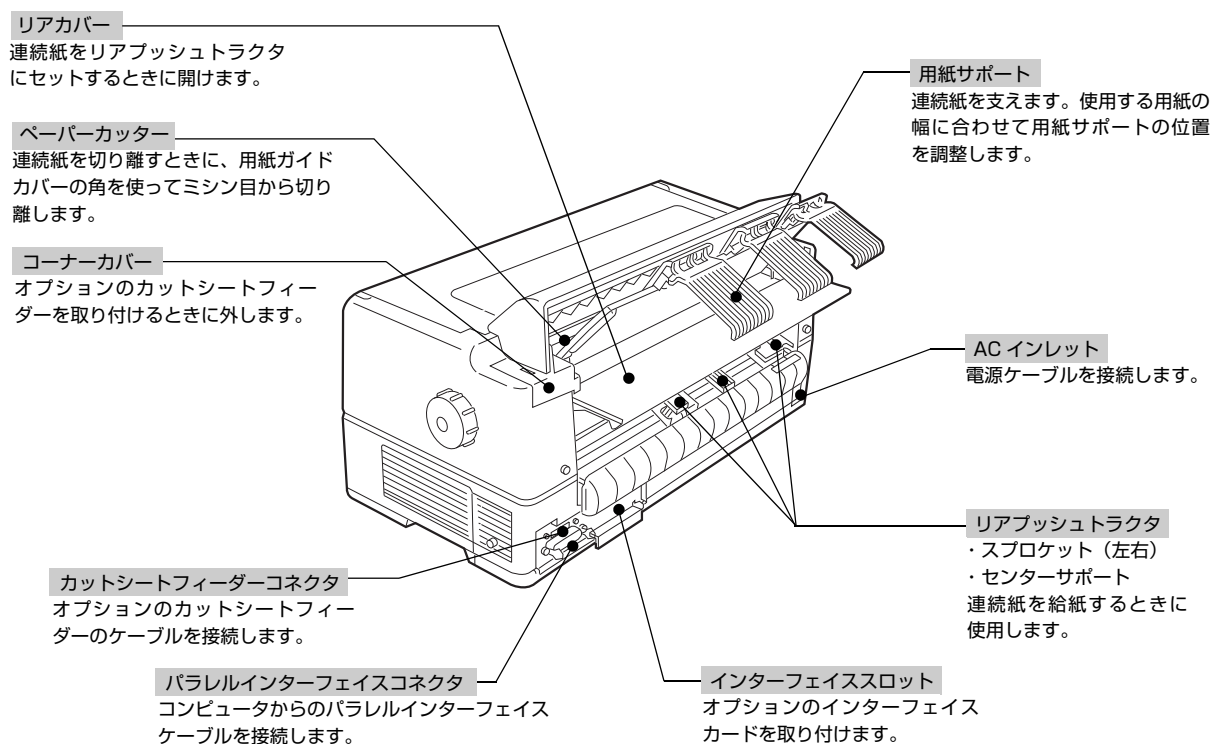
さらに以下の点も注意してください。

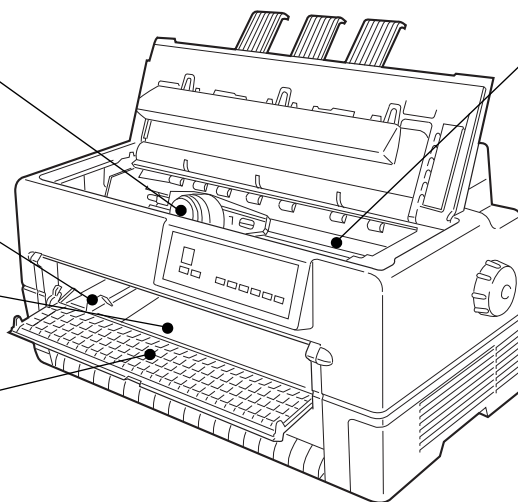
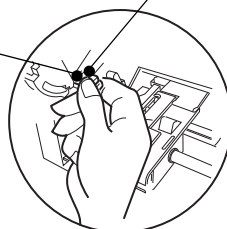
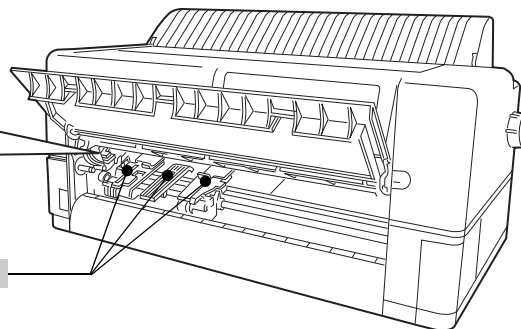
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

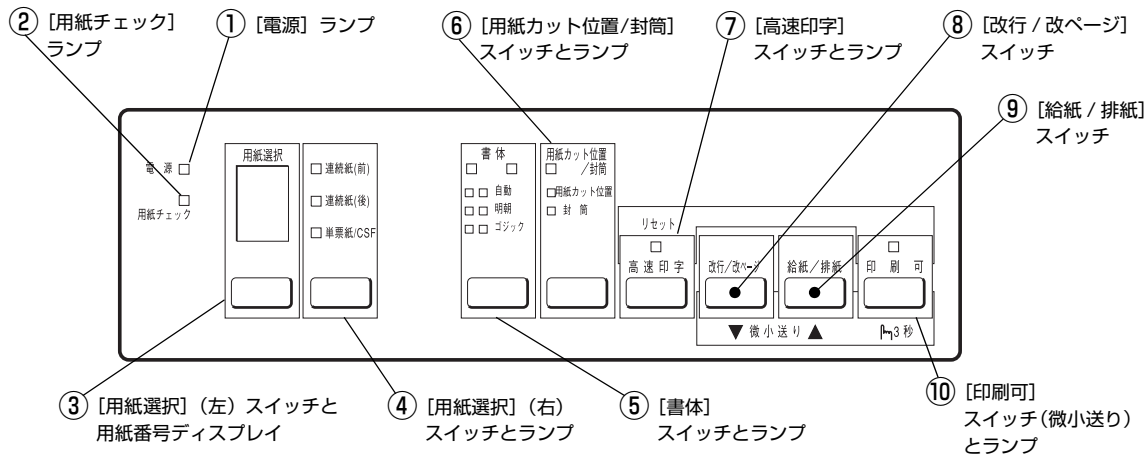
本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

背面

内部

プリントヘッド
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり
分解したりしないでください。
エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。
用紙ガイド（前）
単票紙を前から給紙するときに
使用します。
単票テーブル
単票用紙を支えます。
プラテン
印刷している用紙を支えて
送り出します。
復帰レバー
プリンタ内に詰まった用紙を取り除いた後、
下から押し上げてロックします。
用紙押さえレバー（緑色）
プリンタ内に詰まった用紙を
取り除くときに押し下げます。
フロントプッシュトラクタ
・スプロケット（左右）
・センターサポート
前から連続紙を給紙するときに使用します。

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　□：点灯　■：消灯　：点滅

①[電源]ランプ(緑)

ランプ	概要
□	電源が入っている状態。
■	電源が切れている状態。

②[用紙チェック]ランプ(赤)

ランプ	概要
□	給紙時の用紙がない状態。
	用紙詰まりの状態。

③[用紙選択](左)スイッチとディスプレイ

ディスプレイの表示	概要
０～８	用紙登録ユーティリティから登録された用紙情報の番号を表示します。 ０（初期設定値）：用紙登録ユーティリティで登録されていない用紙を使用するときに選択します。 １～８：用紙登録ユーティリティで登録された用紙を使用するときに選択します。 用紙登録ユーティリティの詳細については、以下のページを参照してください。 『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「用紙登録ユーティリティ」

④[用紙選択](右)スイッチとランプ(緑)

［用紙選択］（右）スイッチを押して、給紙方法を切り替えます。

表示	概要
連続紙（前）：□	フロントプッシュトラクタにセットされている連続紙で印刷します。
連続紙（後）：□	リアプッシュトラクタにセットされている連続紙で印刷します。
単票 /CSF：□	単票紙を使用するときに押します。用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダーから給紙します。

⑤[書体]スイッチとランプ(緑)

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。

ランプ	設定値	概要
■□	自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンタの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します。アプリケーションソフトから選択できないときは漢字は明朝体、英数カナ文字はローマンで印刷します。
□■	明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
□□	ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はエプソンサンセリフで印刷します。

書体の設定は、プリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体(TrueType フォントなど)を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

(漢字モード)

```
   、 。 ， ． ・ ： ；
… ‥ ゛ ゜ “ ” （ ）
∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃
↑ ↓ ＝ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ 0
S T U V W X Y Z
```

(英数カナ文字モード)

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

⑥[用紙カット位置 / 封筒]スイッチとランプ(緑)

連続紙のとき：[用紙カット位置] スイッチとして働きます。

単票紙のとき：[封筒] スイッチとして働きます。

ランプ	概要
■	ティアオフ機能で連続紙のミシン目が用紙カット位置以外にあります。[用紙カット位置] スイッチを押すと、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。
(点滅)	ティアオフ機能で連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。
□	単票紙の場合は、[封筒] スイッチとして動作します。封筒を使用するときに押してください。

⑦[高速印字]スイッチとランプ(緑)

ランプ	概要
■	通常の速度で印字します。
□	文字パターンのドットを間引きして、通常より高速で印字 * します。

*：Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタドライバの［印刷品質］を［ドラフト］に設定する必要があります。
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」－「設定項目」

⑧[改行 / 改ページ]スイッチ

スイッチを短く押すと改行します。

スイッチを押し続けると、連続紙の場合は改ページし、単票紙の場合は排紙します。

⑨[給紙 / 排紙]スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	プッシュトラクタ（フロント、リア）に用紙をセットした状態でスイッチを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、トラクタ位置へ排紙します。
単票紙	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、用紙ガイド（上）またはカットシートフィーダー（オプション）にセットされた用紙を給紙します。 印刷位置に給紙された状態でスイッチを押すと排紙します。 用紙ガイド（前）から給紙する場合は、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動給紙されます。

⑩[印刷可]スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値 / 状態	スイッチの動作
□	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でスイッチを短く（3 秒未満）押すと、待機に変わります。
■	待機	印刷できない状態です。スイッチを短く（3 秒未満）押すと、印刷可能な状態になります。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。
点滅	微小送りモード	「ピッ」というブザーが鳴るまで3秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモードになります。 用紙を排紙側に移動させるときは［給紙 / 排紙］（▲）スイッチを押します。 用紙を給紙側に移動させるときは［改行 / 改ページ］（▼）スイッチを押します。 『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」 微小送りモードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。
ー	リセット	［印刷可］スイッチと［高速印字］スイッチを同時に 2 秒以上押すとプリンタをリセットします。 ［高速印字］スイッチは［印刷可］スイッチを押してから3秒以内に押してください。 『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「付録」－「プリンタの仕様」－「初期化」

ランプ表示によるプリンタ状態

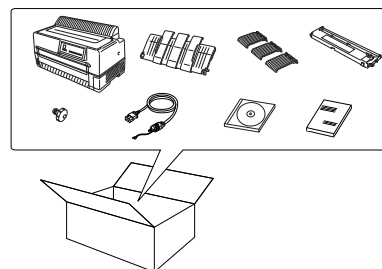
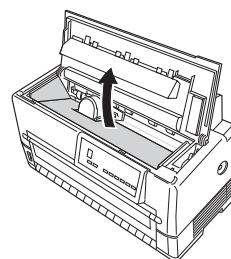
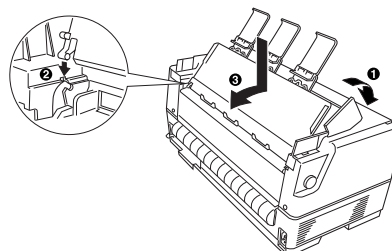
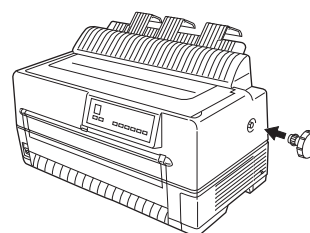
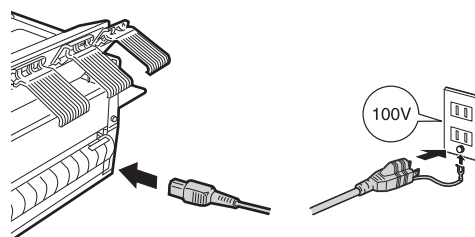
パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題	対処方法
■［印刷可］ランプ □［用紙チェック］ランプ	•••	用紙がセットされていません。	用紙をセットします。
■［印刷可］ランプ ☼［用紙チェック］ランプ	•••	用紙が詰まっています。	本書 43 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
■［印刷可］ランプ ■［用紙チェック］ランプ	•••••	完全に排紙されていません。	［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。
	•••••	連続紙と単票紙の切り替えが正しくできていません。	［給紙方法］スイッチを押して給紙方法を切り替え、用紙を正しくセットし直します。 ☞ 本書 29 ページ「給紙と排紙」
	•••	［用紙選択］で指定した用紙と、セットされている用紙サイズが合っていません。	正しいサイズの用紙をセットします。
	•••	プリンタカバーが開いています。	プリンタカバーを閉じ、［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。
☼［印刷可］ランプ ☼［用紙チェック］ランプ ☼［高速印字］ランプ ☼［書体］ランプ ☼［用紙カット位置 / 封筒］ランプ ☼［用紙選択］ランプ	- - - - -	不明なプリンタエラーが発生しました。用紙番号ディスプレイに“E”と表示されます。	プリンタの電源を切って数分放置後、再度プリンタの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

□：点灯　■：消灯　☼：点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝短い断続音（ピッピッピッピッピッ）、- - - - - ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

プリンタのセットアップ

プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

6 コンピュータとの接続

☞21 ページ

お手持ちのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

7 リボンカートリッジの取り付け

☞23 ページ

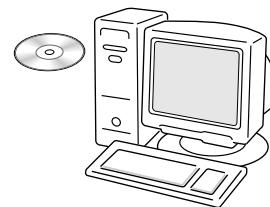
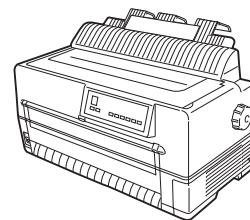
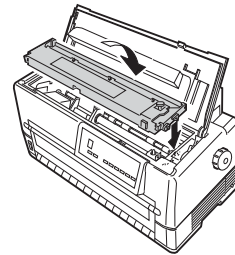
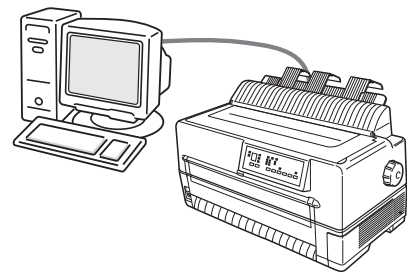
8 動作の確認

☞24 ページ

プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。

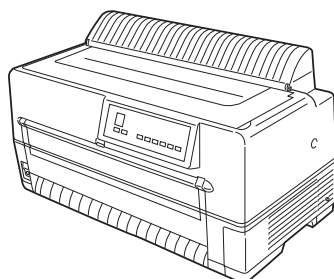
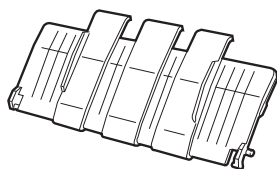
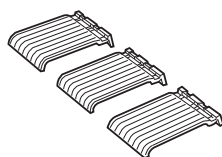
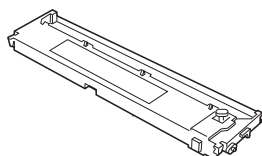
9 プリンタドライバのインストール

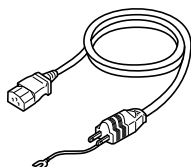
☞26 ページ

Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❑ プリンタ本体

❑ 用紙ガイド

❑ 用紙サポート

❑ リボンカートリッジ

❑ 紙送りノブ

❑ 電源ケーブル

❑ VP-5200 取扱説明書
セットアップと使い方の概要編（本書）

❑ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

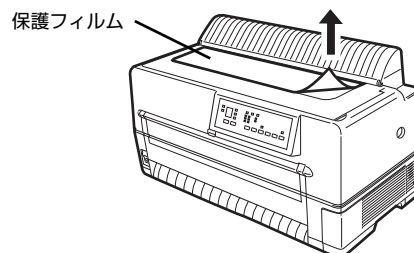
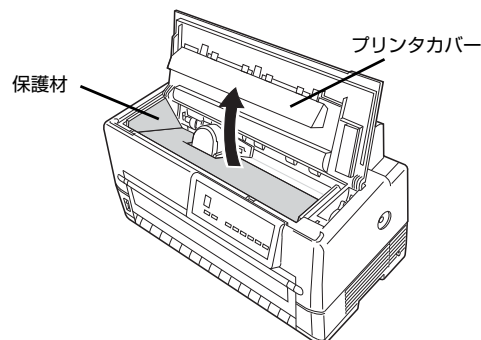
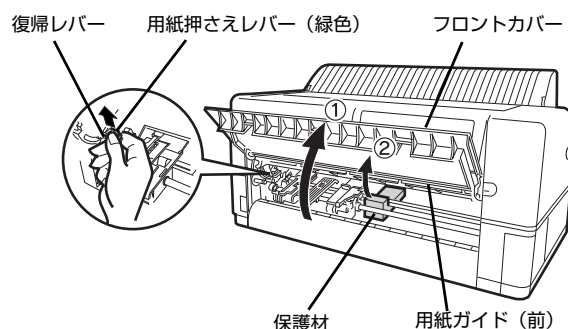
- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !2
- EPSON ステータスモニタ 3
- VP-5200 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。

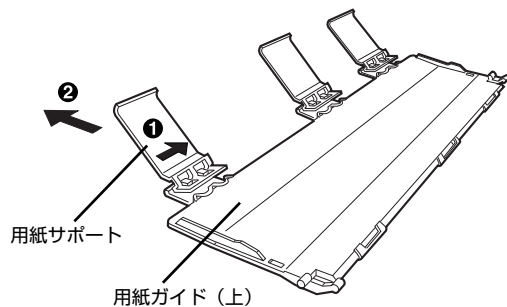
以下の保護材を取り外してください。

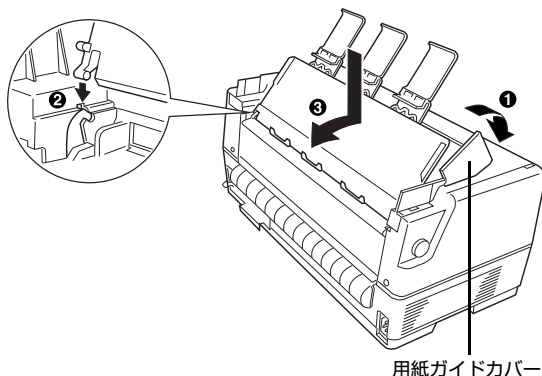
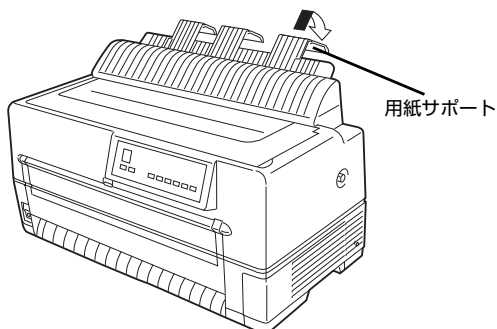
1 **保護フィルムをはがします。**

2 **プリンタカバーを開け、プリントヘッドを固定する保護材を取り外します。**

3 **フロントカバーを開け（①）、保護材を取り外します（②）。**

！注意

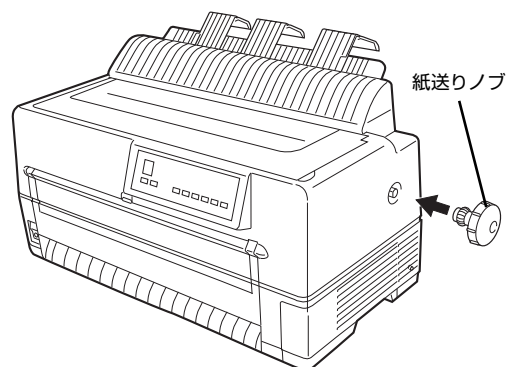
- 左右にある用紙押さえレバーと復帰レバーを持ち、しっかりと上に上がっていることを確認してください（用紙押さえレバーが下がっていると印刷できません）。
- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

3. 用紙ガイド(上)の取り付け

同梱されている用紙サポートを用紙ガイド（上）に取り付け、その後プリンタに取り付けます。

1 **用紙ガイド（上）を組み立てます。**
用紙サポートをずらしてフックにかけ、強く引いて用紙ガイド（上）にはめ込みます。

2 **用紙ガイド（上）をプリンタに取り付けます。**

- 用紙ガイドカバーを前へ倒します。
- 用紙ガイド（上）を傾けて持ち、ガイド溝（左右）に差し込みます。
- 用紙ガイド（上）を後ろへ傾けます。

3 **用紙サポートを倒します。**

4. 紙送りノブの取り付け

1 **プリンタ本体の右横の穴にある軸と紙送りノブの穴を合わせ、紙送りノブを奥まで押し込みます。**

> **!注意**
> 紙送りノブは、プリンタ内部に詰まった用紙を取り除くために使います。電源が入っているときは、絶対に紙送りノブを使用して紙送りしないでください。

以上で紙送りノブの取り付けは終了です。

続いて電源と接続します。

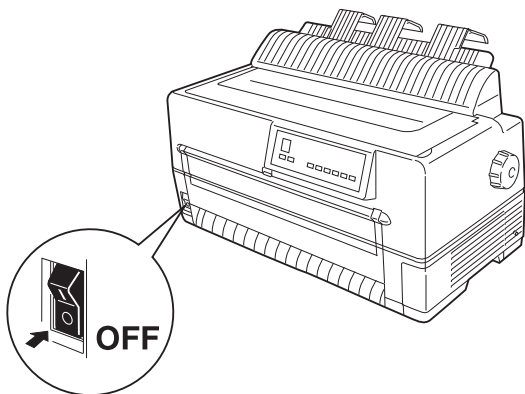
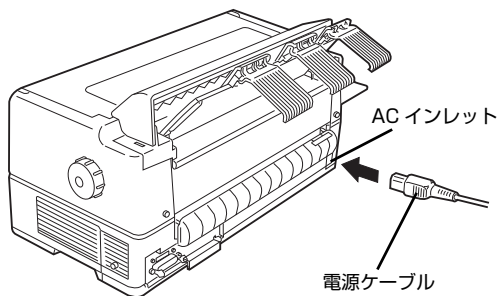
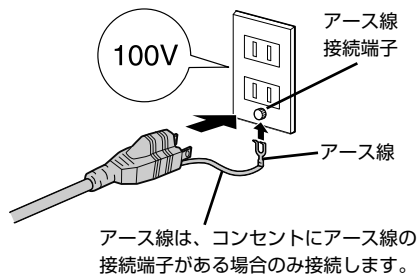
5. 電源接続

電源コードを電源コンセントに接続します。

⚠注意

「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。

☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 プリンタ背面の AC インレットに電源ケーブルを差し込みます。

3 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。

参考

漏電による事故防止について

本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

! 注 意

- 電源プラグをコンピュータ背面のコンセントに接続しないでください。
- 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

6. コンピュータとの接続

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続するか、オプションのインターフェイスカードを使用して Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

参考
お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

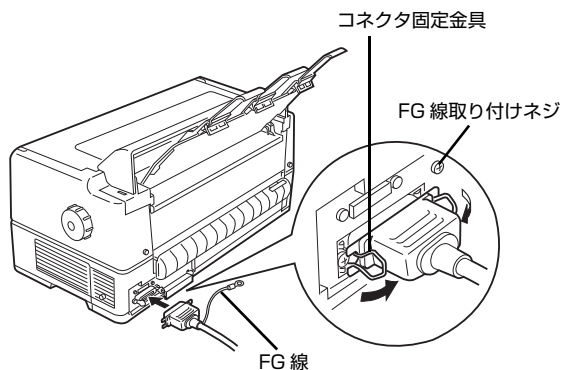
ローカル接続

コンピュータをローカル接続する場合は、パラレルインターフェイスケーブルをご用意ください。

ケーブル	機種	型番
パラレル インターフェイス	DOS/V 仕様機	PRCB4N

! 注意
- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ(ハードウェアキー)などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

1 電源が切れていることを確認します。
プリンタの電源とコンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。
インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に起こして固定します。

3 FG 線* を接続します。
インターフェイスケーブルに FG 線(グランド線)が付いているときは、コネクタの横にある FG 線取り付けネジを使って接続します。
* FG(グランド)線:ノイズによる誤動作を防止するための接続線

4 もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。
インターフェイスケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続するには、オプションのインターフェイスカードが必要です。インターフェイスカードの取り付けは PDF マニュアルの以下のページを参照して行ってください。

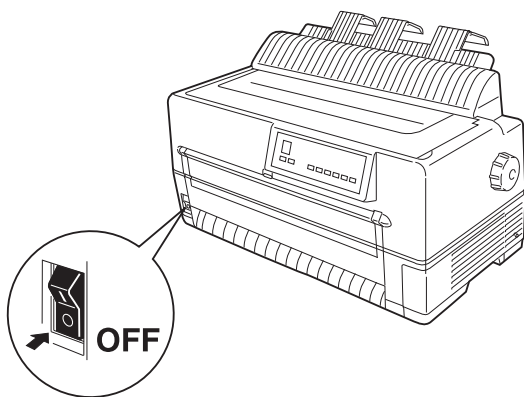
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル)–「オプションと消耗品」–「インターフェイスカード」–「取り付け方」

型番	名称	解説
PRIFNW7	100BASE-TX/ 10BASE-T マルチプロトコル ネットワーク I/F カード	本製品をEthernetでネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には、Ethernet ツイストペアケーブル(カテゴリー5 以上)が別途必要です。 ネットワーク上の設定については、インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

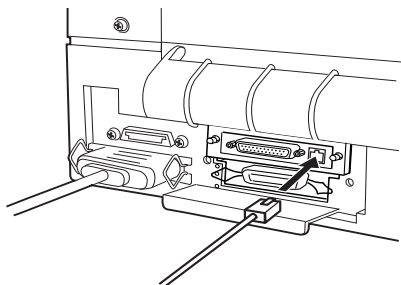
参考
- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル)–「プリンタ設定値の変更」–「操作パネルからの設定」
- Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。
  プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書 詳細編』(PDFマニュアル)–「Windows からの印刷」–「プリンタの共有」

!注意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチングHUBでは正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 オプションのインターフェイスカードを装着してから Ethernet ケーブルを接続します。

オプションのインターフェイスカードの装着方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) −「オプションと消耗品」−「インターフェイスカード」−「取り付け方」

3 ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

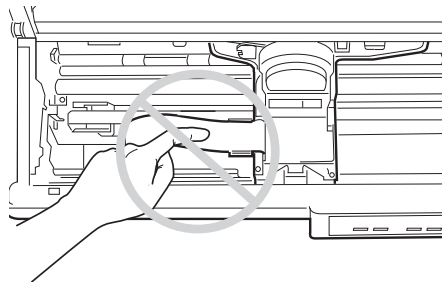
以上でコンピュータとの接続は終了です。

インターフェイスカードの設定方法については、お使いのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

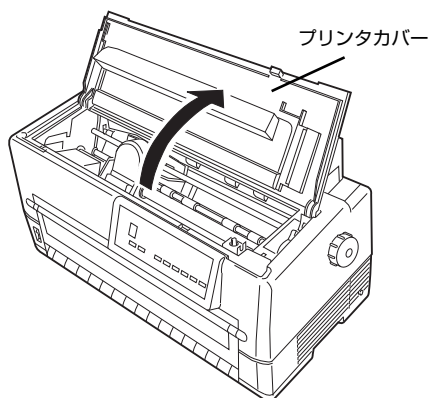
7. リボンカートリッジの取り付け

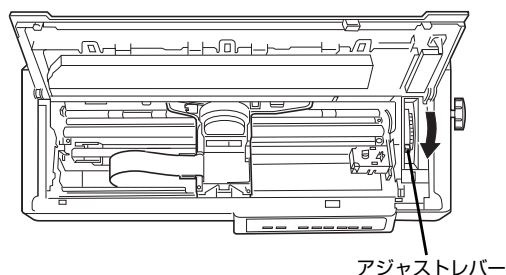
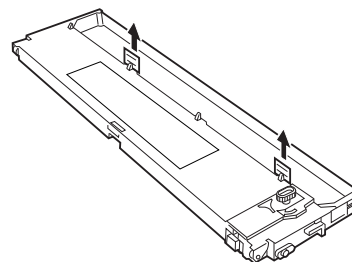
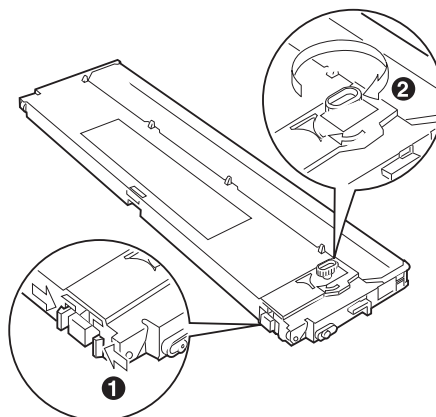
同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

!注意

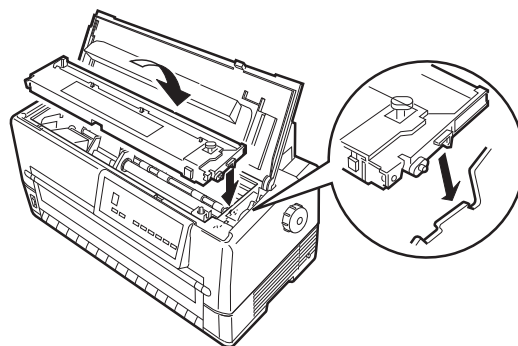
- プリンタの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンタ内部の灰色のケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

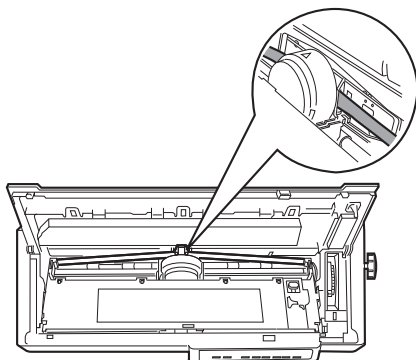
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

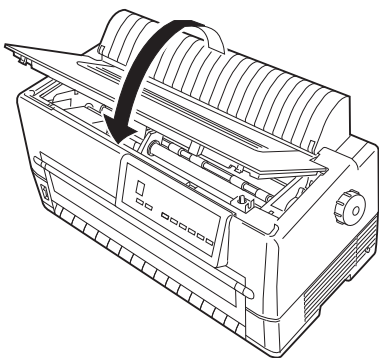
2 **プリンタカバーを開けます。**

3 **アジャストレバーが「D」の位置にあることを確認します。**

「D」の位置にない場合は、アジャストレバーを手前に倒し、「D」にセットします。

4 **リボンカートリッジのリボン止め具を取り除きます。**

5 **ツメを矢印の方向に押し込んでロックを解除し(①)、ツマミを矢印の方向(時計回り)に回して(②)、リボンが送られることを確認します。**

6 **リボンカートリッジをプリンタに取り付けます。**

プリンタ両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

7 インクリボンをプリントヘッドに取り付けます。

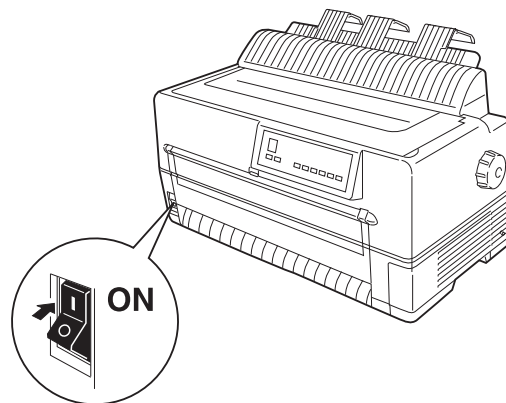
- プリントヘッドの両側にあるリボンガイドにインクリボンをかけます。
- リボンカートリッジのツマミを時計回りに回してリボンのたるみを取ります。
  リボンが自由に動くのを確認してください。

8 プリンタカバーを閉じます。

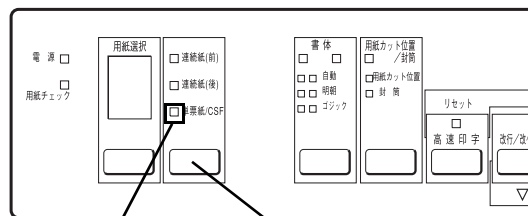
プリンタカバーを閉じ、カチッと音がするまで押し込みます。

> **!注意**
> プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

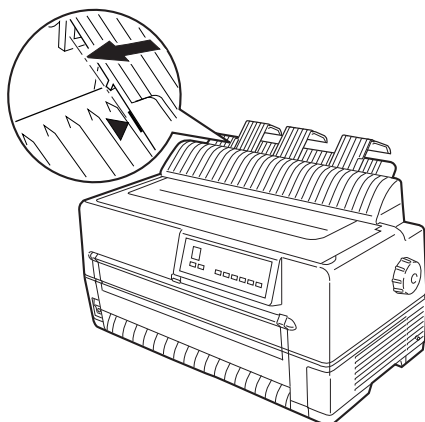
8. 動作の確認

プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。ここでは、用紙ガイド（上）から給紙する手順を例に説明します。

> **参考**
> 動作の確認は連続紙を使用することもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
> 本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

1 プリンタの電源を入れます。

> **参考**
> 操作パネルの用紙番号ディスプレイに“E”と表示されるときは：
> 輸送時の強い衝撃により用紙押さえレバー（緑色）と復帰レバーのロックがはずれることがあります。ロックがはずれた場合には、プリンタの電源を入れたときにエラー状態（操作パネルに“E”と表示）となります。フロントトラクタの保護材を外したら、左右両側にある用紙押さえレバー（緑色）と復帰レバーをしっかり上に押し上げて、ロックされていることを確認してください。
> 本書 18 ページ「2. 保護材の取り外し」

2 ［用紙選択］（右）スイッチを押して［単票紙 / CSF］を選択した後、電源を切ります。

3 **エッジガイドを調整します。**

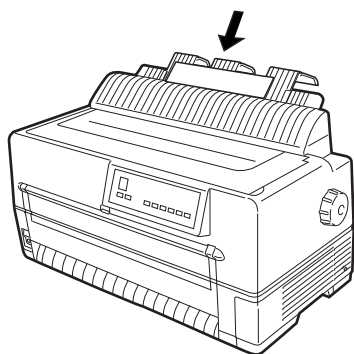
エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）に合わせ、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。

4 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

すべてのランプが一瞬点灯します。消灯後に［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを離してください。

［用紙チェック］ランプが点灯します。

5 **単票紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、単票紙の先端が突き当たるまで差し込み、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

6 **[印刷可] スイッチを押して印刷を実行します。**

1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットして［給紙 / 排紙］スイッチを押し、給紙されたら［印刷可］スイッチを押します。

> ⚠注意
>
> 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。カバーを開けると印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じます。

＜印刷結果例（一部抜粋してあります）＞

・漢字モード

```
…  ‥  。 ;  ・ ・  :  ;
       、   “  ”  (  )
∞  ∴  ♂  ♀  °  ′  ″  ℃
↑  ↓  〓  ∈  ∋  ⊆  ⊇  ⊂
♯  ♭  ♪  †  ‡  ¶  ◯  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z
```

・英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

> **参考**
>
> - 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
> - 用紙ガイド（前）から給紙して、1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙を給紙するだけで印刷を開始します。

7 **[印刷可] スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。**

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

> **!注意**
>
> 電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

8 **印刷結果を確認します。**

6 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。

> **参考**
>
> - 用紙ガイド（前）から単票紙を給紙する場合は、4 の後に用紙を給紙するだけで、印刷を開始します。
> - 手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。
>   エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。

9. プリンタドライバのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !2、EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

!注意

Macintosh、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

参考

- Windows XP(32bit) でお使いの場合は、OS 標準搭載のプリンタドライバをプラグアンドプレイ機能またはプリンタの追加からインストールします。
- Windows XP(64bit) ではプリンタを検出すると、自動的に OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-5200］がインストールされますが、本製品同梱のプリンタドライバは［EPSON VP-5200 ESC/P］となります。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には［EPSON VP-5200 ESC/P］を選択してください。Windows XP(64bit) の仕様上、OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-5200］は削除せずにそのままの状態で使用してください。
- Windows Vista/7 では、OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-5200］と、本製品同梱のプリンタドライバ［EPSON VP-5200 ESC/P］の 2 つがインストールされる場合があります。
  製品同梱のプリンタドライバのご使用をお勧めします。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には［EPSON VP-5200 ESC/P］を選択してください。
- EPSON プリンタウィンドウ !2 は、Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP(32bit) でご使用いただけます。
- EPSON ステータスモニタ 3 は、Windows XP(64bit)/Vista/7/8 でご使用いただけます。
- Windows XP(32bit) をお使いの場合は、OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールしてください。［ソフトウェア一覧］で［EPSON プリンタウィンドウ !2］を選択してインストールします。
- EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP接続プリンタ（オプションのPRIFNW7を使用）
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないようにしてください。

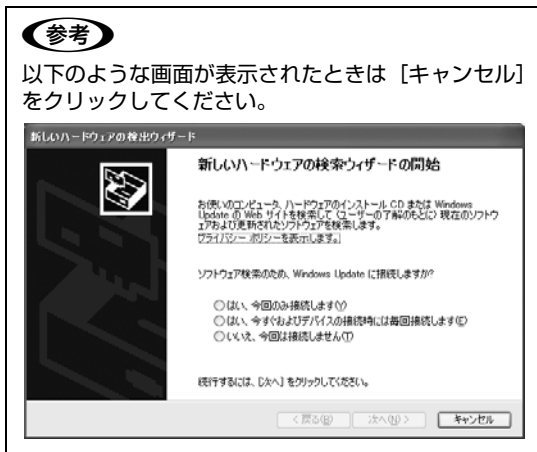
1 **プリンタの電源を切ります。**

指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 **Windows を起動します。**

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

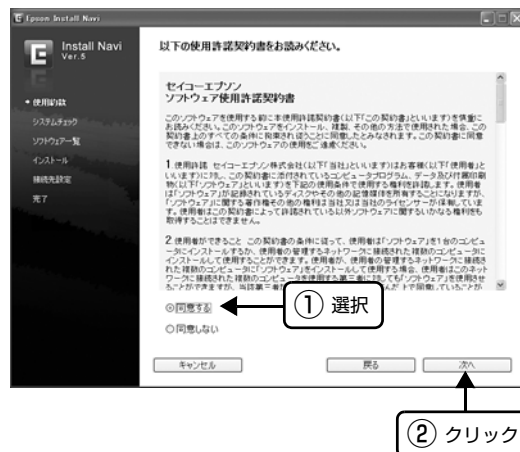
4 **［簡単インストール］をクリックします。**

参考

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

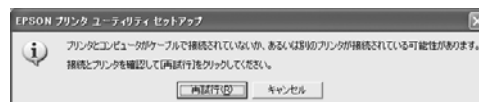
5 **以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。**

ソフトウェアのインストールが始まります。

［同意しない］をクリックした場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 **しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。**

プリンタの接続先を設定します。

参考

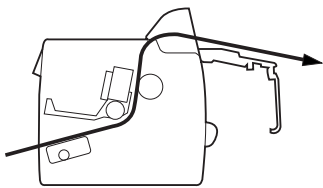
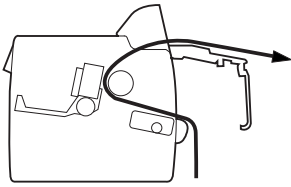
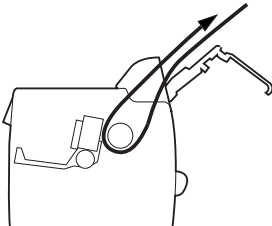
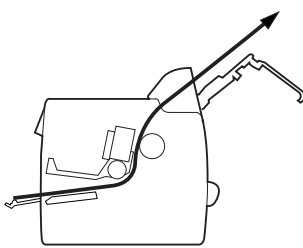
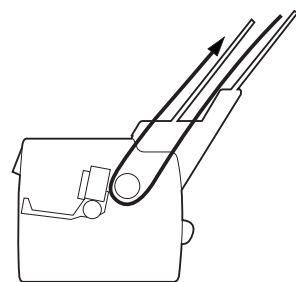
6 の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

7 以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品は、プリンタの前後、上に給紙装置を備え、マルチウェイローディング機構により連続紙をセットしたままの状態で単票紙を給紙することができます。

操作パネル上の［用紙選択］（右）スイッチまたはお使いのコンピュータから設定することにより、連続紙と単票紙を切り替えることができます。

用紙種類		給紙経路	［用紙選択］ランプ （□：点灯、■：消灯）	給紙方法
連続紙	• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙）。 • 複写紙はフロントプッシュトラクタから給紙する場合、最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚）まで、リアプッシュトラクタから給紙する場合、最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）まで。 • 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可。 • 連続ラベル紙はフロントプッシュトラクタから給紙します。	前からの給紙	□ 連続紙（前） ■ 連続紙（後） ■ 単票 /CSF	フロントプッシュトラクタから給紙します。
		後ろからの給紙	■ 連続紙（前） □ 連続紙（後） ■ 単票 /CSF	リアプッシュトラクタから給紙します。

用紙種類		給紙経路	［用紙選択］ランプ （□：点灯、■：消灯）	給紙方法
単票紙 ハガキ 封筒	・上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙）、ハガキ、封筒。 ・複写紙は用紙ガイド（前）から給紙する場合、最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚）まで、用紙ガイド（上）/ カットシートフィーダー（オプション）から給紙する場合、最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）まで。 ・単票ラベル紙は使用不可。 ・ハガキは、用紙ガイド（前）またはカットシートフィーダーから給紙します。 ・封筒は、用紙ガイド（前）から給紙します。 ・最大幅 420mm（A3 横相当）の用紙まで使用できます。ただし最大印字桁数は 136 桁（345mm）ですので、左右マージン（余白部）が多くなります。 ・ミシン目の入った用紙は使用できません。	上からの給紙	■ 連続紙（前） ■ 連続紙（後） □ 単票 /CSF	用紙ガイド（上）から用紙を手差し給紙します。
		前からの給紙	■ 連続紙（前） ■ 連続紙（後） □ 単票 /CSF	用紙ガイド（前）から用紙を手差し給紙します。
		CSF からの給紙	■ 連続紙（前） ■ 連続紙（後） □ 単票 /CSF	カットシートフィーダー（オプション）から用紙を自動給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

• 連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、 裏カーボン紙
用紙幅 （台紙幅）	101.6 ～ 406.4mm（4.0 ～ 16.0 インチ）	
ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）	
用紙厚	0.06 ～ 0.1mm	• 前から給紙 0.12 ～ 0.65mm • 後ろから給紙 0.12 ～ 0.42mm
用紙連量	40 ～ 70kg （坪量 46.5 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 70kg （坪量40～81.3g/m^2） （1 枚当たり）
コピー枚数	－	• 前から給紙 最大 8 枚 （オリジナル＋ 7 枚） • 後ろから給紙 最大 6 枚 （オリジナル＋ 5 枚）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

参考

プリンタドライバでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。
② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch ×縦 4.67inch の用紙とします）。
③ プリンタドライバの［用紙サイズ］リストから、8×4.67inchに合うサイズとして、「15×4　2/3inch」を選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。
また、4inch 未満の縦サイズ、たとえば 3.3inch の場合、10inch（3 等分）のように、等分で表現しています。

• 連続ラベル紙

項目	ラベル紙
品質	上質紙
台紙ページ長	101.6～558.8mm (4.0～22.0インチ)
用紙厚 （台紙含む）	0.2mm 以下 （台紙との段差は 0.12mm 以下）
用紙連量	45 ～ 70kg（坪量 52 ～ 81.3g/m^2）

※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• 単票紙（単票複写紙）

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙 *2
品質		上質紙 *1、 普通紙、 PPC 用紙、 再生紙	ノンカーボン紙、 裏カーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）	92 ～ 420mm （3.6 インチ～ A3 横）	
	用紙ガイド（上）		
	CSF	100 ～ 420mm （3.9 インチ～ A3 横）	
用紙長	用紙ガイド（前）	90 ～ 420mm （3.5 インチ～ A3 縦）	
	用紙ガイド（上）		
	CSF	100 ～ 364mm （3.9 インチ～ B4 縦）	
用紙厚	用紙ガイド（前）	0.05 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.65mm
	用紙ガイド（上）	0.06 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.42mm
	CSF	0.08 ～ 0.1mm	
コピー 枚数	用紙ガイド（前）	－	最大 8 枚 （オリジナル ＋ 7 枚）
	用紙ガイド（上）		最大 6 枚 （オリジナル ＋ 5 枚）
	CSF		
用紙 連量	用紙ガイド（前）	30 ～ 70kg （坪量 34.8 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 70kg （坪量 40 ～ 81.3g/m^2） （1 枚当たり）
	用紙ガイド（上）	40 ～ 70kg （坪量 46.5 ～ 81.3g/m^2）	
	CSF		

*1: 本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
*2: 横のり綴じの複写紙は使用できません。
※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（上）/ CSF
B4（257×364mm）	縦長、横長	縦長、横長
B5（182×257mm）	縦長、横長	縦長、横長
B6（128×182mm）	縦長、横長	縦長、横長
A3（297×420mm）	縦長、横長	横長
A4（210×297mm）	縦長、横長	縦長、横長
A5（148×210mm）	縦長、横長	縦長、横長
A6（105×148mm）	縦長、横長	縦長、横長

※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。
※ B4 横より幅の広い単票用紙を使用するときは、左のエッジガイドをマークより左に寄せて使用してください。最大印字桁数は 136 桁ですので、用紙によっては左右マージン（余白部分）が多くなります。

• ハガキ

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.23mm 以下	
用紙連量	165kg（坪量 191.5g/m2）相当	

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	用紙ガイド（前）	CSF
通常ハガキ（100×148mm）	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ（148×200mm）	縦長、横長	縦長、横長

※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。

• 封筒

項目	詳細			
品質	クラフト紙、ケント紙			
用紙幅	205mm	235mm	277mm	332mm
用紙長	90mm	120mm	216mm	240mm
用紙厚（総厚）	0.35mm 以下			
用紙連量	50 ～ 80kg（坪量 58 ～ 92.8g/m^2）			

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

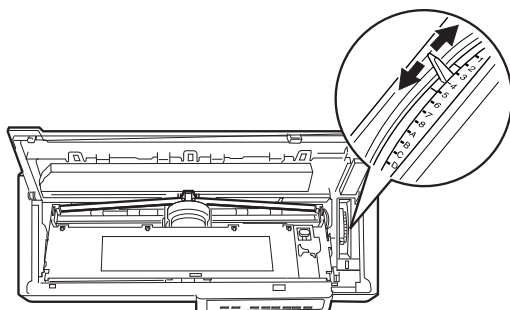
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「封筒」－「印字推奨領域と給紙方向」

アジャストレバーの設定

セットした用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。通常は、自動紙厚調整は［ON］に設定されているためアジャストレバーの設定は不要です。印字が薄かったり印字濃度がばらつく場合には自動紙厚調整を［OFF］に設定し、給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

1 プリンタの設定項目［自動紙厚調整］を［OFF］に設定します。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

2 プリンタカバーを開け、アジャストレバーを調整します。

用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値 *
1 枚紙		1
複写紙	2 枚	2
	3 枚	3
	4 枚	4
	5 枚	5
	6 枚	6
	7 枚	7
	8 枚	8
ハガキ		4
封筒		2 ～ 8

* ：リボンカートリッジを交換するときや詰まった用紙を取り除くときは、アジャストレバーを「D」にセットしてください。A、B、C は通常は使用しません。

！注意

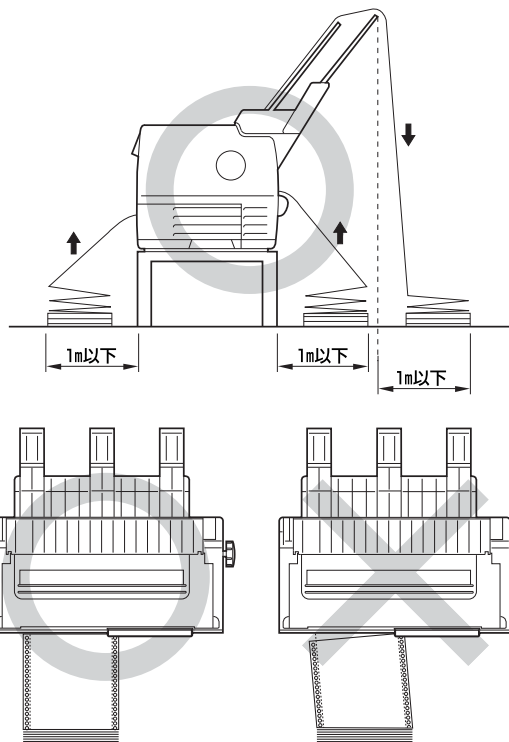
- 特殊紙に印刷する場合は、印字領域に注意してください。ソフトウェアで印字領域を設定する際は、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「印刷できる用紙」
- 上記の表は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

連続紙の給紙と排紙

!注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。
- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンタの電源を入れたまま、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

連続紙、連続ラベル紙はフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタから給紙します。

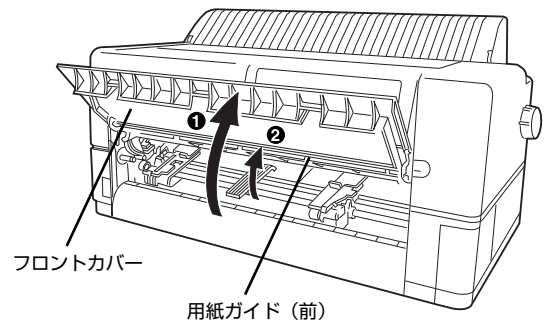
スムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

!注意

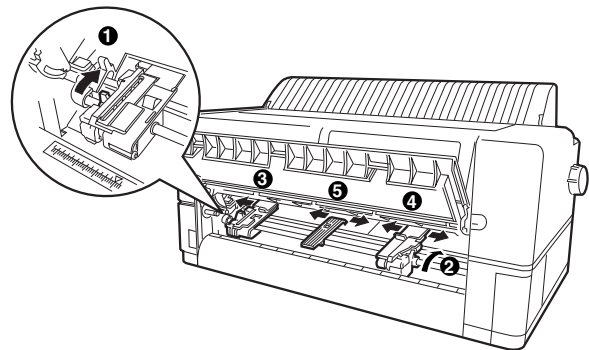
プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

前からの給紙

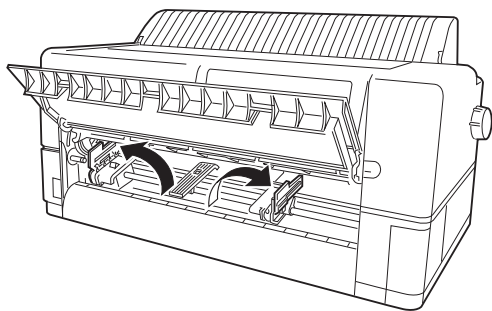
1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

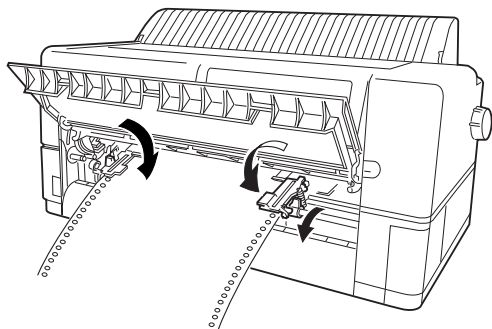
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 フロントカバーを開けてから用紙ガイド（前）を上げます。

3 左右のスプロケットの固定レバーのロックを解除し、スプロケット位置を調整します。

- 左右のスプロケットの固定レバーを矢印の方向に倒して解除します（①、②）。
- 左側のスプロケットを左端まで移動し、固定レバーをロックします（③）。
- 右側のスプロケットを使用する用紙の幅に合わせます（④）。
- センターサポートを左右のスプロケットの中央に合わせます（⑤）。

参考

左側のスプロケット下側にある▼は、印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
① 用紙のセット位置を確認します。
　1 桁目の印字開始位置を▼印に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

4 左右のスプロケットカバーを開けます。

5 用紙をセットし、スプロケットを固定します。

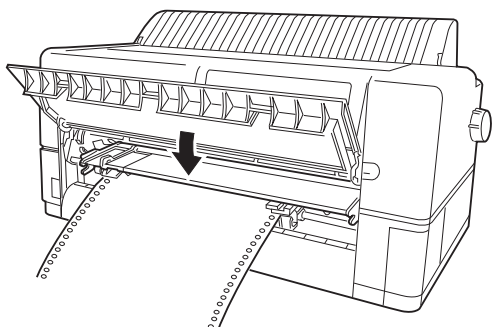
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左右のスプロケットのカバーを閉じてから、右側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 固定レバーを手前に倒してロックします。

⚠注意

スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

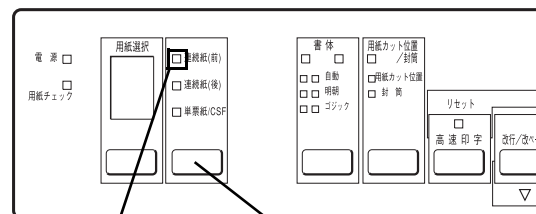
参考

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと

6 用紙ガイド（前）を下げます。

7 フロントカバーを閉じます。

8 電源を入れて、［用紙選択］（右）スイッチを押して「連続紙（前)」に設定します。

［連続紙（前)］ランプが点灯します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、［用紙選択］（右）スイッチで選択できません。［用紙選択］（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

9 ［給紙／排紙］スイッチを押して給紙します。

！注意

- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回さないでください。

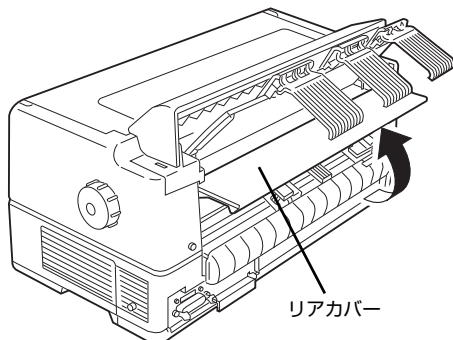
10 ［印刷可］ランプ（緑）が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。

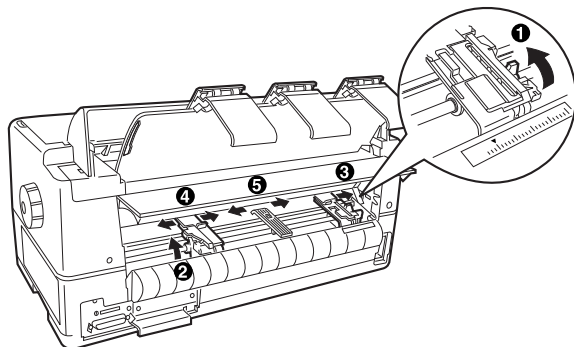
［印刷可］ランプが消えているときは、［印刷可］スイッチを押して点灯させます。

後ろからの給紙

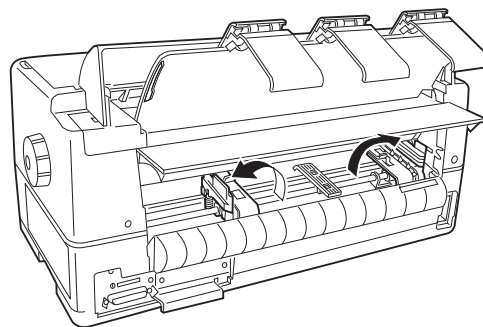
1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

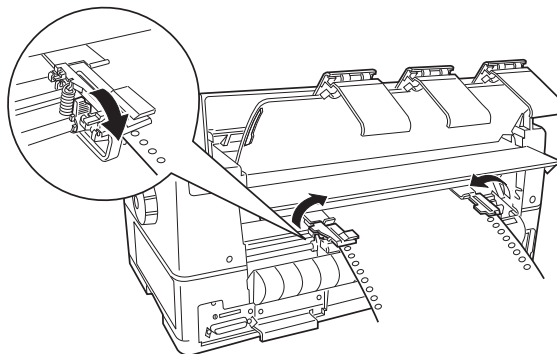
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **リアカバーを開けます。**

3 **左右のスプロケットの固定レバーのロックを解除し、スプロケット位置を調整します。**

- 左右のスプロケットの固定レバーを矢印の方向に倒して解除します（①、②）。
- 右側のスプロケットを右端まで移動し、固定レバーをロックします（③）。
- 左側のスプロケットを使用する用紙の幅に合わせます（④）。
- センターサポートを左右のスプロケットの中央に合わせます（⑤）。

参考

右側のスプロケット下側にある▼は、印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
① 用紙のセット位置を確認します。
　1桁目の印字開始位置を▼印に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

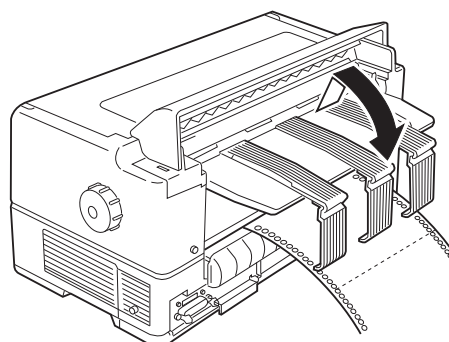
4 **左右のスプロケットカバーを開けます。**

5 **用紙をセットし、スプロケットを固定します。**

- 印刷する面を下にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 右側のスプロケットのカバーを閉じてから、左側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 固定レバーを手前に倒してロックします。

注意

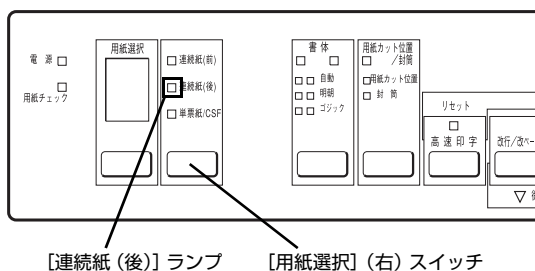
スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

参考

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと

6 **リアカバーを閉じ、用紙ガイド（上）を倒します。**

7 **電源を入れて、[用紙選択]（右）スイッチを押して「連続紙（後)」に設定します。**

[連続紙（後)] ランプが点灯します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

8 **[給紙／排紙] スイッチを押して給紙します。**

!注意

- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回さないでください。

9 **[印刷可] ランプ（緑）が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

[印刷可] ランプが消えているときは、[印刷可] スイッチを押して点灯させます。

!注意

印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーが開くと、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じます。

参考

- 用紙ガイドのエッジガイドを左右両端へ移動してください。
- 印刷する前に、以下を設定してください。
  - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り)」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

紙ホチキス紙、ラベル紙

紙ホチキス紙

紙ホチキス紙（両側紙ホチキス綴じまたは片側点のり綴じ＋片側紙ホチキス綴じの連続複写紙）は、[紙ホチキス紙モード] を [オン] に設定してからセットしてください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

セット・排紙方法は連続紙と同じです。

☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」

用紙の仕様について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 31 ページ 「印刷できる用紙」
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

参考

- 紙ホチキス紙をセットするときは、必ず用紙ガイド（上）を斜めに立ててください。
  ☞ 本書 19 ページ 「3. 用紙ガイド（上）の取り付け」
- 紙ホチキス紙モードでは、印字速度が遅くなることがあります。

連続ラベル紙

連続ラベル紙を印刷するときはフロントプッシュトラクタから給紙します。

セット方法は連続紙と同じです。以下のページを参照してください。

☞ 本書 34 ページ 「前からの給紙」

排紙方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 38 ページ 「連続ラベル紙の排紙」

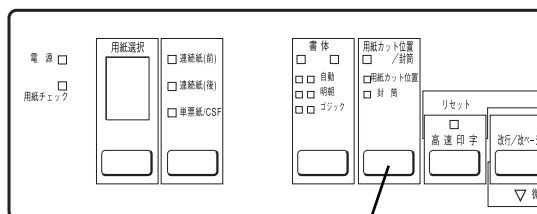
連続紙の排紙

連続紙はプリンタの上面から排紙されます。

ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

1 ［用紙カット位置 / 封筒］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

切断するミシン目がプリンタカバーのペーパーカッターとずれているときは、［微小送り▼］スイッチまたは［微小送り▲］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙カット位置の微調整（微小送り）」

［用紙カット位置 / 封筒］スイッチ

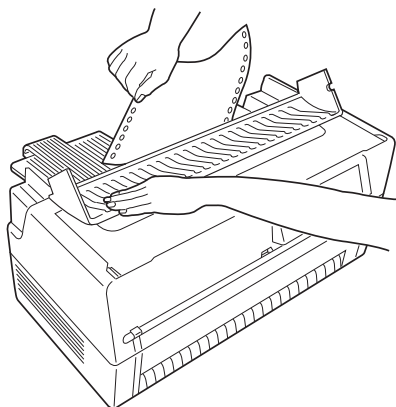
参考

上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。

設定方法は PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

2 ミシン目の位置で連続紙を切り離します。

ペーパーカッターで連続紙を切り離すことができます。

3 ［給紙/排紙］スイッチを押して連続紙を戻します。

電源を切るときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をプッシュトラクタ位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

連続ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをしてください。ティアオフ機能（［用紙カット位置 / 封筒］スイッチまたは［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

！注意

［用紙カット位置 / 封筒］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてラベル紙をフロントカバー側から引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。

印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙をフロントカバーより手前で切り離し、［改行 / 改ページ］スイッチを押してラベル紙を排紙します。

単票紙の給紙と排紙

!注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンタの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
- プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

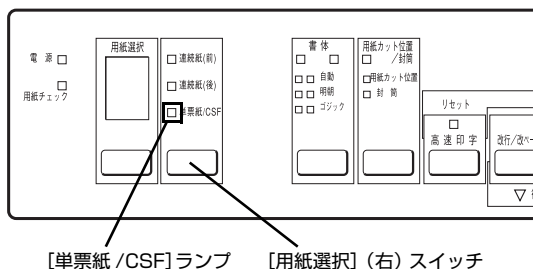
用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。単票紙は、用紙ガイド（前 / 上）からの手差し給紙（1 枚ずつ）と、カットシートフィーダー（オプション）からの連続給紙ができます。カットシートフィーダーの取り付け、給紙方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」

用紙ガイド(前)からの給紙

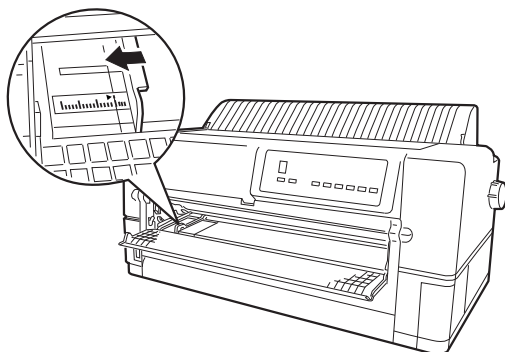
1 **プリンタの電源を入れて、[用紙選択]（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」に設定します。**

[単票紙 /CSF］ランプが点灯します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

2 **単票テーブルを開け、エッジガイドを調整します。**

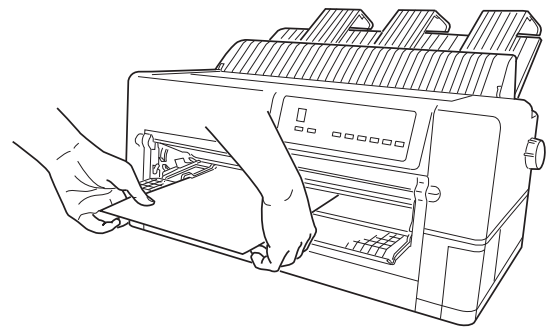
用紙ガイド(前)のエッジガイドをガイドマーク（▶|）に合わせます。

参考

エッジガイドの位置によって印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。

3 **用紙ガイド（上）を斜めに立てます。**

4 **用紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。給紙動作が始まります。

!注意

プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回さないでください。

参考

- セットした用紙が印刷されずに排紙される場合があります。エッジガイドに沿って用紙をまっすぐに給紙し直してください。
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5 **[印刷可］ランプ（緑）が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

[印刷可］ランプが消えているときは、[印刷可］スイッチを押して点灯させます。

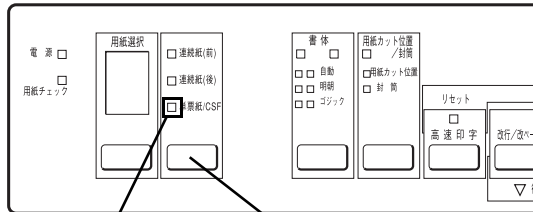
6 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。

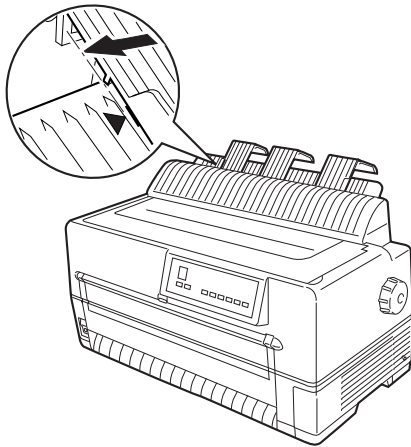
☞ 本書 43 ページ 「用紙が詰まったときは」

用紙ガイド(上)からの給紙

1 **プリンタの電源を入れて、[用紙選択]（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」に設定します。**

[単票紙 /CSF] ランプが点灯します。

> **参考**
>
> 用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

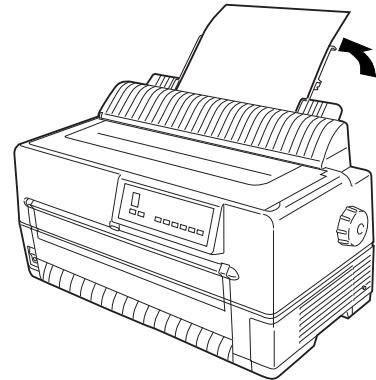
2 **用紙ガイド（上）のエッジガイドを調整します。**

- 用紙ガイド（上）のエッジガイドをガイドマーク（▶|）に合わせます。
- エッジガイド（右）を用紙幅に合わせます。

> **参考**
>
> エッジガイドの位置によって印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。

3 **用紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。

> **！注意**
>
> プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回さないでください。

> **参考**
>
> 長い単票用紙を使用する場合は、用紙サポートを立てます。
>
>

4 **[給紙 / 排紙] スイッチを押します。**

> **参考**
>
> - DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
> - プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5 **[印刷可] ランプ（緑）が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

[印刷可] ランプが消えているときは、[印刷可] スイッチを押して点灯させます。

6 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

> **参考**
>
> 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
> ☞ 本書 43 ページ 「用紙が詰まったときは」

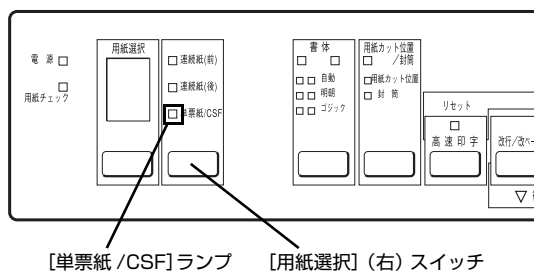
封筒､ハガキ

封筒

封筒は、封筒モードを設定し、用紙ガイド（前）から給紙します。

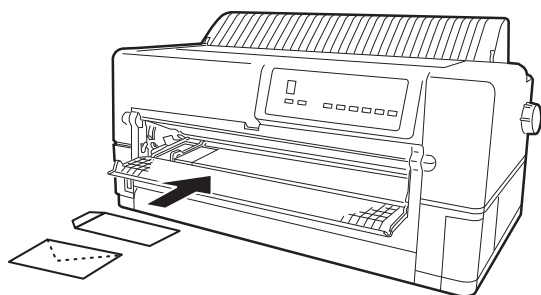
1 **プリンタの電源を入れて、[用紙選択]（右）スイッチを押して「単票紙 /CSF」に設定します。**

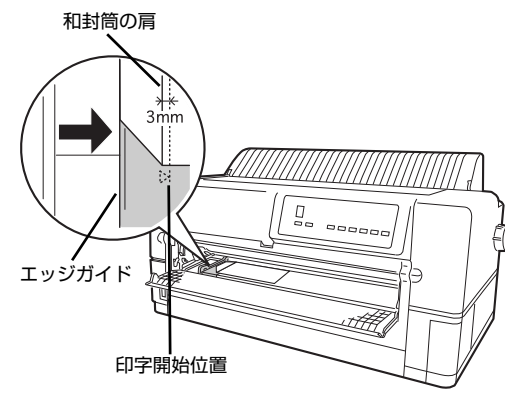
[単票紙 /CSF] ランプが点灯します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

2 **[用紙カット位置 / 封筒] スイッチを押して「封筒」を選択します。**

3 **封筒をセットします。封筒は横長でセットします。**

印刷面を上に向けてセットします。

! 注 意

和封筒の表面に印字する場合は、印字開始位置が封筒の肩（フラップ部を除いた位置）から 3mm の場所になるように、エッジガイドの位置を調整してセットしてください。

4 **印刷が終了したら、[用紙カット位置 / 封筒] スイッチを押して封筒モードを解除します。**

ハガキ

郵便ハガキは用紙ガイド（前）またはオプションのカットシートフィーダーから給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。

☞ 本書 39 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

連続紙と単票紙の切り替え

フロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

プリンタドライバで給紙装置を選択している場合は、以下の操作をしなくても、自動的に選択されている給紙装置に切り替わります。

連続紙から単票紙への切り替え

1 連続紙が残っているときは、[用紙カット位置 / 封筒] スイッチを押します。

連続紙を排紙します。

2 連続紙をミシン目で切り離します。

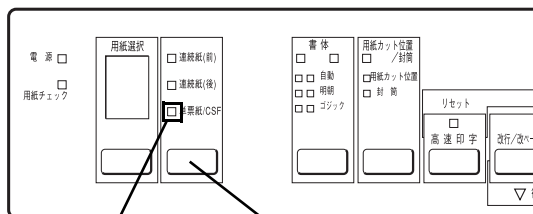
ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

!注意

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はフロントプッシュトラクタ位置で切り離してください。プリンタ内に残ったラベル紙は [改行 / 改ページ] スイッチを押して排紙します。

3 [給紙 / 排紙] スイッチを押します。

連続紙はトラクタの位置まで逆に戻ります。トラクタから連続紙を外す必要はありません。

4 [用紙選択]（右）スイッチを押して「単票紙 / CSF」に設定します。

[単票紙 /CSF] ランプが点灯します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

5 用紙ガイド（上）を斜めに立てます。

6 単票紙を用紙ガイド（前）または（上）にセットします。

エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

☞ 本書 39 ページ「用紙ガイド（前）からの給紙」
☞ 本書 40 ページ「用紙ガイド（上）からの給紙」

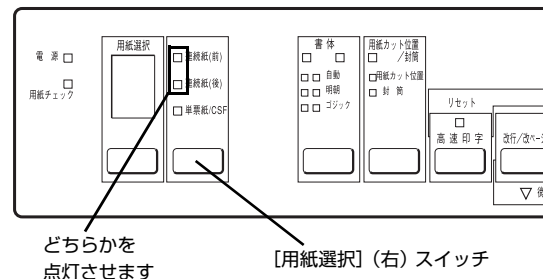
7 印刷データを送ります。

単票紙から連続紙への切り替え

1 単票紙が残っているときは、[給紙/排紙] スイッチを押します。

単票紙を排紙します。

2 [用紙選択]（右）スイッチを押して「連続紙（前）」または「連続紙（後）」に設定します。

参考

用紙番号が「0」に設定されていない場合は、[用紙選択]（右）スイッチで選択できません。[用紙選択]（左）スイッチを押して用紙番号を「0」に設定してください。

3 用紙ガイド（上）を水平に倒します。

4 印刷データを送ります。

連続紙は自動的に給紙され、印刷します。

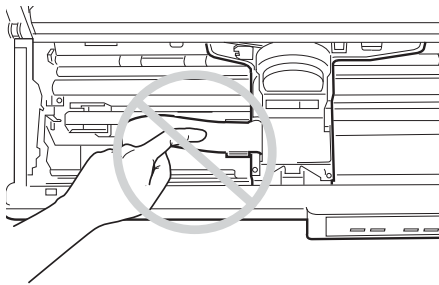
!注意

印刷データを送る前にフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

> ⚠注意
> プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

> **!注意**
> 用紙を取り除くときに、プリンタ内部の灰色のケーブルに触れないようにしてください。
>
>

連続紙が詰まったときは

1. **プリンタの電源を切ります。**
2. **連続紙を切り離します。**
3. **フロントまたはリアカバーを開き、プッシュトラクタのスプロケットカバーを開けます。**
4. **紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回し、用紙を後退させながら静かに引き抜きます。**
   プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。
   ☞ 本書 44 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

   > **!注意**
   > 紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。

5. **用紙をセットし直します。**
   ☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
6. **フロントまたはリアカバーを閉じます。**

単票紙が詰まったときは

1. **プリンタの電源を切ります。**
2. **紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回し、用紙を前進させながら静かに引き抜きます。**
   プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。
   ☞ 本書 44 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

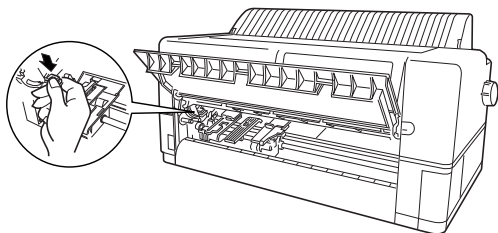
   > **!注意**
   > 紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。

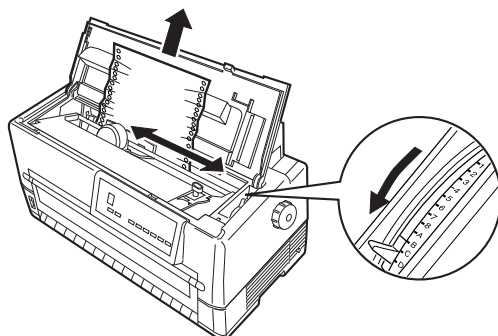
3. **電源を入れて、用紙をセットし直します。**
   ☞ 本書 39 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

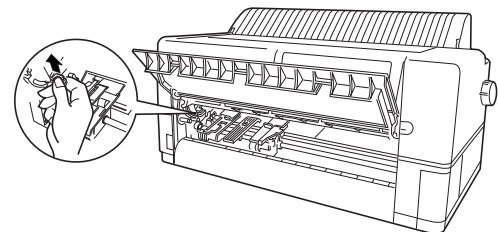
プリンタ内部に用紙が残ったときは

1. **プリンタの電源を切ります。**

2. **フロントカバーを開き、用紙ガイド（前）を上げます。**

3. **用紙押さえレバーと復帰レバーを一緒につまんで下げます。**

> **⚠注意**
> プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

4. **プリンタカバーを開け、アジャストレバーを「D」に設定し、用紙を取り除きます。**

5. **プリンタカバーを閉じます。**
通常アジャストレバー位置を元に戻す必要はありません。自動紙厚調整が［OFF］に設定されているときのみアジャストレバー位置を調整してください。
☞ 本書 33 ページ 「アジャストレバーの設定」

6. **復帰レバーをしっかりと上に押し上げます。**

> **参考**
> 用紙押さえレバーと復帰レバーのロックがはずれていると、プリンタの電源を入れたときにエラー状態（操作パネルに“E”と表示）となります。

7. **用紙をセットし直します。**

カットシートフィーダーで用紙が詰まったときは

1. **プリンタの電源を切ります。**

2. **紙送りノブを反時計回りに回して用紙を静かに引き抜きます。**
   - 用紙が見えるときは、用紙セットレバーを［解除］にし、用紙を取り除きます。
   - 用紙が見えないときは、カットシートフィーダーを取り外してから用紙を取り除きます。
   - プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。
     ☞ 本書 44 ページ 「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

3. **カットシートフィーダーを取り外した場合は、プリンタに取り付けてから、用紙をセットし直します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）−「オプションと消耗品」−「カットシートフィーダー」−「取り付け方」

用紙詰まりの予防

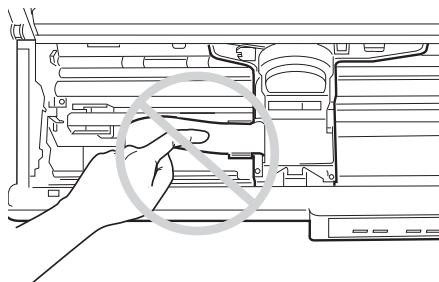
用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 31 ページ 「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 39 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 42 ページ 「連続紙と単票紙の切り替え」
- 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
  許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- オプションのカットシートフィーダーに用紙をセットするときは複数枚の用紙をセットしてください。用紙を 1 枚しかセットしないと正しく給紙されないことがあります。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、プリンタ前面のフロントプッシュトラクタから給紙します。
  ☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

参考
- リボンカートリッジは純正品（型番：VP5200RC）のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンパック（型番：VP5200RP）は、リボンカートリッジ（型番：VP5200RC）内部のリボンだけを交換するものです。
  1つのカートリッジにつき4回までリボン交換ができます。

- プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンタ内部の灰色のケーブルに触れないでください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

1 プリントヘッドが中央部にあることを確認します。

プリントヘッドが端にあるときは、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドが自動的に中央部に移動します。

!注意
電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

2 プリンタの電源を切ります。

⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 プリンタカバーを開けます。

4 アジャストレバーをセットします。

アジャストレバーを手前に倒し、「D」の位置に合わせます。

5 インクリボンをプリントヘッドから外し、リボンカートリッジを両手で手前に引くようにして外します。

6 新しいリボンカートリッジを用意します。

7 リボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジの取り付けについて詳しくは、以下のページを参照してください。

本書23ページ「7.リボンカートリッジの取り付け」

参考
使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **［電子マニュアルを見る］をクリックします。**

3 **［VP5200UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします**

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOS、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.5x/NT4.0、Macintoshでの操作方法などを説明した補足説明書のPDFデータは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013 年 2 月現在）。	本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターへお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

種類		概要	修理代金		お問い合わせ先
			保証期間内	保証期間外	
年間保守契約	出張保守	● 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代･部品代＊が無償になるため予算化ができ便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金		エプソン サービスコール センター
	持込保守	● 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 ● 修理のつど発生する修理代･部品代＊が無償になるため予算化ができ便利です。 ● 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 ＊：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金		
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 ＋ 技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください	
持込 / 送付修理		修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	エプソン 修理センター
ドア to ドアサービス		● 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ● 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）	ドア to ドア サービス受付電話

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　　　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070
・鳥取修理センター：0857-77-2202　・福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。（2013年2月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM）　2013. 02

EPSON　VP-5200　セットアップと使い方の概要編